

農林水産省登録  
第21528号

*eigen*

芝用除草剤・殺菌剤

**エイゲン<sup>®</sup>水和剤**

*p y r i b u t i c a r b*

## グリーン管理の省力化

エイゲン水和剤は、発生前の一年生イネ科雑草と各種病害の同時防除が可能なユニークな薬剤です。芝生に対する安全性が高いため、ベントグリーンにも安心して使用する事ができます。

包装  
**500g×20袋**  
水溶性内袋入り



株式会社 ニッソーグリーン

®は日本曹達株式会社の登録商標です。

# eigen

エイゲン水和剤は、ピリブチカルブ47%を有効成分として含有する芝用除草剤として平成3年6月に農薬登録を取得しました。また、芝生の各種病原菌に対するの実用性も評価され、平成7年2月に芝用殺菌剤としての農薬登録も取得しています。

## 特長

1

### 一年生イネ科雑草への優れた除草効果。

発生前のスズメノカタビラ・メヒシバなどの一年生イネ科雑草に対して、優れた除草効果を発揮します。

2

### 広範囲の芝病害への効果。

エイゲン水和剤は芝用除草剤としてだけではなく、芝生の主要病原菌である子のう菌類（ヘルミントスポリウム菌・スクレロチニア菌等）や、担子菌類（リゾクトニア菌・ティフラ菌等）への抗菌活性も有しています。

3

### 芝生への高い安全性。

ベントグラス・ブルーグラス・日本芝に対して高い安全性を有しています。また、土壌中の移行性が少ないので、ベントグリーンにも安心して使用することができます。

4

### 使いやすい水溶性内袋入り。

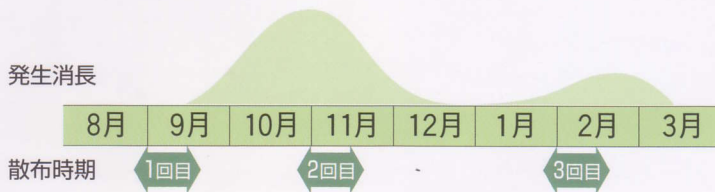
散布液調整時の粉立ちがない水溶性内袋入りです。

# 除草剤としてのエイゲン水和剤

## エイゲン水和剤の散布時期（関東平野での標準例）

\*エイゲン水和剤は既に発生した雑草に対しては効果がありませんので、各地域の雑草発生状況に応じた散布時期の検討が必要です。

### ■スズメノカタビラ対策



### ■メヒシバ対策



## 殺草スペクトラム（土壌処理効果）

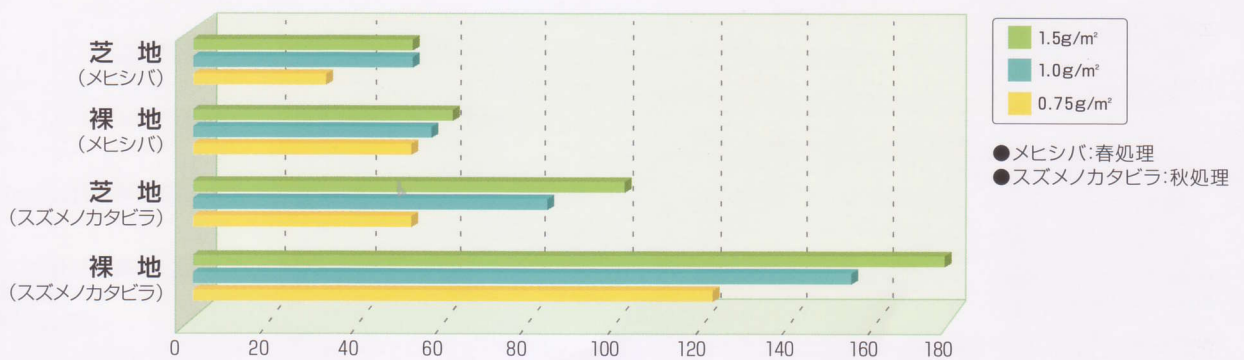
（大日本インキ化学工業（株）総合研究所温室内ポット試験 1995年）

雑草名	0.75g/m <sup>2</sup>	1.0g/m <sup>2</sup>	1.5g/m <sup>2</sup>
スズメノカタビラ	●	●	●
メヒシバ	●	●	●
エノコログサ	◎	●	●
アキメヒシバ	●	●	●
オヒシバ	●	●	●
コメヒシバ	●	●	●
スズメノテッポウ	●	●	●
カゼクサ	●	●	●
イヌビエ	●	●	●

■効果：×（無）<△<○<◎<●（極大）

## 残効

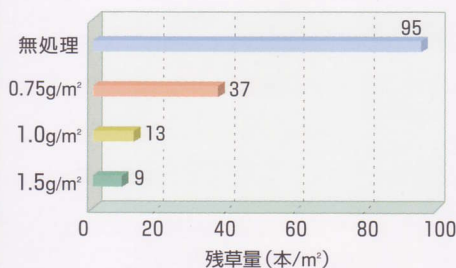
（大日本インキ化学工業（株）総合研究所圃場試験 1995年）



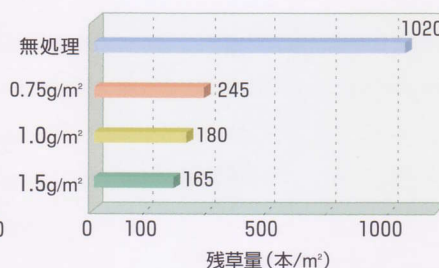
## 公式委託試験成績（抜粋）

### ■スズメノカタビラに対する除草効果

試験機関：西日本グリーン研究所  
試験場所：玄海ゴルフクラブ  
品種名：ペンクロスベントグラス  
散布日：1988年10月26日  
調査日：1989年3月8日  
薬害：なし

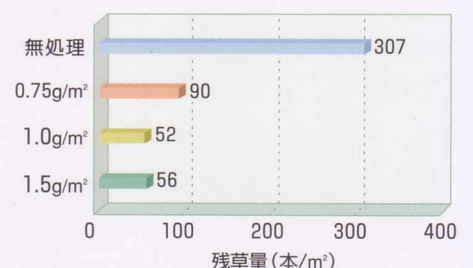


試験機関：札幌国際カントリークラブ  
試験場所：パッティンググリーン  
品種名：シーサイドベントグラス  
散布日：1988年9月28日  
調査日：1989年5月22日  
薬害：なし



### ■メヒシバに対する除草効果

試験機関：中国ゴルフ連盟グリーン研究所  
試験場所：広島カントリークラブ  
品種名：ペンクロスベントグラス  
散布日：1988年5月25日  
調査日：1988年8月2日  
薬害：なし

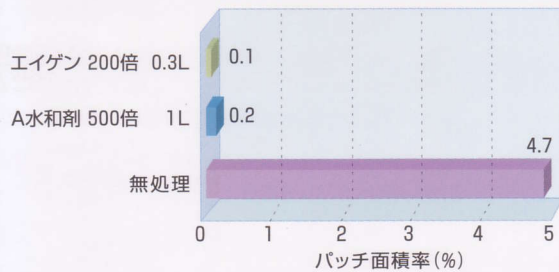


# 殺菌剤としてのエイゲン水和剤

## 公式委託試験成績(抜粋)

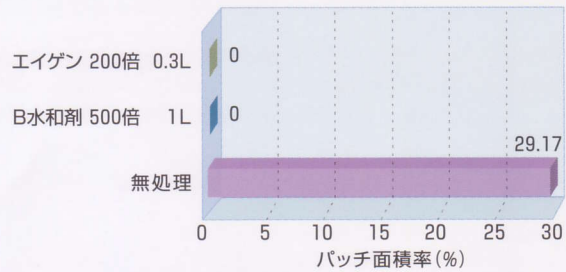
### 葉枯病(ヘルミントスポリウム菌) 1993年

試験機関：(社)日本植物防疫協会研究所 宮崎試験農場  
 試験場所：宮崎座輪梅ゴルフクラブ ナーセリー  
 品 種 名：クリーピングベントグラス  
 散 布 日：エイゲン水和剤 5/10  
 A水和剤 5/10、5/17、5/24  
 調 査 日：5/31  
 薬 害：なし



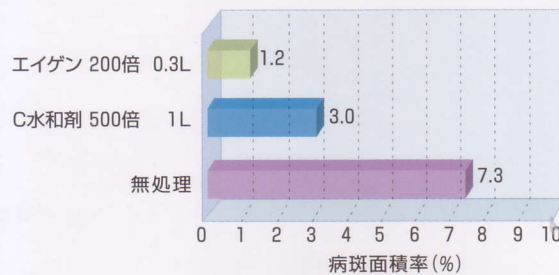
### 葉腐病(ブラウンパッチ) 1992年

試験機関：東日本グリーン研究所  
 試験場所：程ヶ谷カントリー倶楽部 試験圃場  
 品 種 名：ペंकロスベントグラス  
 散 布 日：エイゲン水和剤 6/17  
 B水和剤 6/17、6/24、7/1  
 調 査 日：7/8  
 薬 害：なし



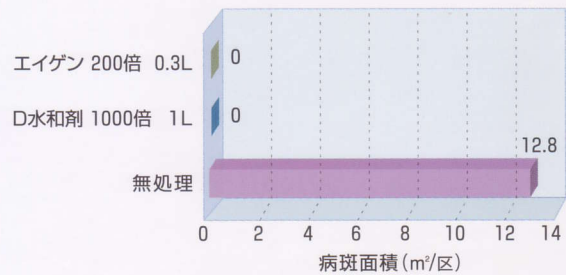
### ダラスポット病 1994年

試験機関：三重大学生物資源学部  
 試験場所：日野ゴルフ倶楽部 ナーセリー  
 品 種 名：ペंकロスベントグラス  
 散 布 日：エイゲン水和剤 5/31  
 C水和剤 5/31  
 調 査 日：6/14  
 薬 害：なし



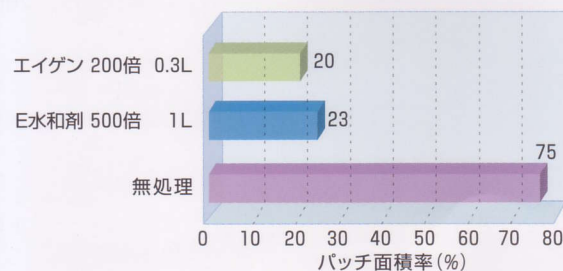
### 葉腐病(ラージパッチ) 1992年

試験機関：(社)日本植物防疫協会研究所  
 試験場所：カントリークラブ・ザ・レイクス 練習場  
 品 種 名：ヒメコウライシバ  
 散 布 日：エイゲン水和剤 4/2、5/7  
 D水和剤 4/2、5/7  
 調 査 日：6/3  
 薬 害：なし



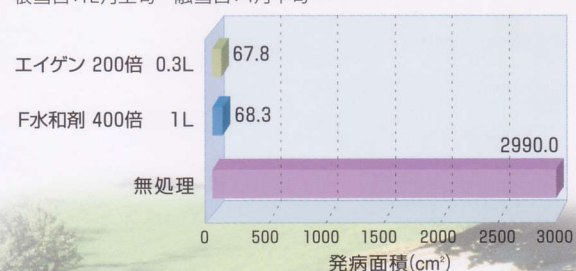
### 疑似葉腐病(リゾクトニア性春はげ症) 1991年

試験機関：西日本グリーン研究所  
 試験場所：若松ゴルフ倶楽部 フェアフェイ  
 品 種 名：コウライシバ  
 散 布 日：エイゲン水和剤 10/14  
 E水和剤 11/19、12/4、12/17、2/25  
 調 査 日：4/7  
 薬 害：なし



### 雪腐病(小粒菌核病) 1993年

試験機関：長野県農事試験場  
 試験場所：菅平高原カントリー倶楽部 ナーセリー  
 品 種 名：ペंकロスベントグラス  
 散 布 日：エイゲン水和剤 11/17  
 F水和剤 11/17、11/30  
 調 査 日：4/12  
 薬 害：なし  
 根雪日：12月上旬 融雪日：4月中旬



芝地では次の点に注意して正しくお使いください。

- 健全な芝生に使用してください。芝の生育を抑制しますので、下記の芝生には使用しないでください。
  - ①張り付け直後の芝
  - ②栽培芝
  - ③虫害・病害で弱っている芝
  - ④踏圧・擦り切れで弱っている芝
- 発生している雑草には効果がありませんので、手取り除草を実施してから使用してください。
- グリーン及びグリーン周辺に散布するときは、除草剤専用ノズルを使用し、規定の薬量を越えないよう均一に散布してください。
- 夏期の高温時は使用しないでください。
- 芝生の生育に有効な根長が5cm以下の場合には生育に影響が出ますので、根長を確認してから使用してください。
- サンドグリーンの洋芝に使用するときには、薬害の確認試験を実施したうえで、使用してください。

## 芝生に対する安全性試験

### 日本芝に対する影響

大日本インキ化学工業(株)総合研究所(1989年)

#### ●コウライシバに対する高薬量処理試験

薬剤名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	薬害の有無			
		11月8日		6月25日	
		壤土	砂土	壤土	砂土
エイゲン水和剤	1.0	なし	なし	なし	なし
	2.0	なし	なし	なし	なし
	3.0	なし	なし	なし	なし

張芝後2年

秋処理:1988年10月7日

春処理:1989年5月24日

散布水量:200ml/m<sup>2</sup>

散布水量:250ml/m<sup>2</sup>

#### ●ノシバに対する高薬量処理試験

薬剤名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	薬害の有無
		7月15日 壤土
エイゲン水和剤	3.0	なし

張芝後2年

処理月日:1989年6月14日

散布水量:200ml/m<sup>2</sup>

### 洋芝に対する影響

\*1東日本グリーン研究所(1990年) \*2大日本インキ化学工業(株)総合研究所(1991年)

#### ●ベントグラスに対する高薬量処理試験<sup>\*1</sup>

薬剤名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	薬害の有無		
		6月24日 (7日目)	6月30日 (13日目)	7月20日 (33日目)
エイゲン水和剤	3.0	なし	なし	なし
	4.5	なし	なし	なし
	6.0	なし	なし	なし
	9.0	なし	なし	なし

品種:ベックロス

播種後3年

処理月日:1990年6月17日

散布水量:250ml/m<sup>2</sup>

#### ●洋芝に対する高薬量処理試験<sup>\*2</sup>

薬剤名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	薬害の有無		
		ベント グラス	イタリアン ライグラス	ペレニアル ライグラス
エイゲン水和剤	3.0	なし	なし	なし
	5.0	なし	なし	なし
	10.0	なし		

播種:1991年2月19日

処理月日:1991年3月28日(芝2~3葉期)

散布水量:300ml/m<sup>2</sup>

最終調査:1991年4月30日

### 連続施用における芝生への影響

大日本インキ化学工業(株)総合研究所(1989年)

#### ●コウライシバに対する連続施用試験

薬剤名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	薬害の有無	
		5月10日	11月23日
エイゲン水和剤	1.5+1.5	なし	なし
	3.0+3.0	なし	なし
	6.0+6.0	なし	なし

張芝後3年(壤土)

春処理:1989年4月9日

散布水量:250ml/m<sup>2</sup>

秋処理:1989年9月25日

#### ●ベントグラスに対する連続施用試験

薬剤名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	薬害の有無	
		5月10日	11月23日
エイゲン水和剤	1.5+1.5	なし	なし
	3.0+3.0	なし	なし
	6.0+6.0	なし	なし

品種:ベックロス

播種後3年(砂土)

春処理:1989年4月9日

散布水量:250ml/m<sup>2</sup>

秋処理:1989年9月25日

## 樹木に対する影響

大日本インキ化学工業(株)総合研究所(1991年)

芝生内及び周辺に植栽されている樹木に対して、エイゲン水和剤の100倍液を枝葉または全面に散布。

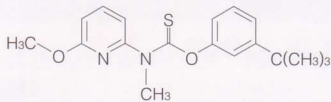
#### ■散布した樹木

サクラ	フジ	マサキ	トウネズミモチ
ウメ	ツツジ	ベニカナメ	ユッカラン
ナシ	サツキ	ピラカンサス	ドイツトウヒ
ツバキ	メタセコイヤ	カイズカイブキ	ツゲ
コブシ	イチョウ	サザンカ	オオムラサキツツジ
シイ	ニセアカシア	ネズミモチ	キョウチクトウ
ヒマラヤスギ	アベリア	ヒイラギモクセイ	

※上記の樹木に薬害は認められませんでした。上記以外の樹木につきましては、弊社へお問い合わせください。

## ■成分・性状

商品名：エイゲン水和剤  
 種類名：ピリブチカルブ水和剤  
 有効成分：ピリブチカルブ……………47.0%  
 構造式：



性状：類白色水和性粉末

## ■安全性

人畜毒性：普通物  
 急性経口毒性  
 ラット LD<sub>50</sub>(♂・♀) > 5,000mg/kg  
 急性経皮毒性  
 ラット LD<sub>50</sub>(♂・♀) > 2,000mg/kg

## ■適用雑草と使用方法

\*印は、本剤およびピリブチカルブを含む農薬の総使用回数

作物名	適用雑草名	10アール当たり使用量		使用時期	総使用回数*	使用方法
		薬量(g)	希釈水量(L)			
日本芝	畑地一年生 イネ科雑草	750~1,500	200~250	芝生育期 (雑草発生前)	4回以内 (ただし、 除草剤としては 3回以内)	散布
西洋芝 (ブルーグラス) ベントグラス)			250			

## ■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用時期	使用方法	総使用回数*	
芝	疑似葉腐病(春はげ症)	200	休眠期前	1㎡当たり 0.3ℓ散布	4回以内	
	葉腐病(ラージパッチ)		発病初期			
	ヘルミントスポリウム葉枯病	200~300				
	カーブラリア葉枯病					
	ベントグラス	葉腐病(ブラウンパッチ)				200
		ダラースポット病				
	雪腐小粒菌核病					

(2006年1月現在の登録内容)

## ⚠️ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量を所要量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 乾燥時の散布では使用水量を多めにしてください。
- 本剤は雑草発生前の処理が有効で、発芽後の雑草には効果が劣るので、時期を失ないように散布してください。
- 本剤は広葉雑草には効果が劣るので、これらの優先圃場での使用はさけてください。
- 葉腐病(ブラウンパッチ)に使用する場合、多発性条件では効果が劣ることがあるので、所定範囲の高濃度(200倍)で散布してください。
- 本剤を連続散布する場合には、芝の生育抑制を生じるおそれがあるので、散布間隔を1か月以上あけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 散布器具・容器の洗浄水及び残りの薬液は河川などに流出しないよう十分注意してください。空袋などは環境に影響を与えないよう、適切に処理してください。

## ⚠️ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、手足・顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。



保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

販売元



**株式会社 ニッソーグリーン**

東京都台東区上野3-1-2(秋葉原新高第一生命ビル5F)  
 〒110-0005 Tel.03-5816-4351  
<http://www.ns-green.com/>

取扱店

製造元



**日本曹達株式会社**

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1